

スマートフォン、パソコンの使用困難で発症した脳梗塞の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

スマートフォン(スマホ)、パーソナルコンピューター(PC)が生活必需品となり、その使用障害が日常生活に支障を来すことがあります。またスマホ、PC 使用困難が、脳卒中による高次脳機能障害によって生じることが予想されます。しかし、そのようなスマホ、PC 使用困難で発症した脳卒中の臨床像に関する先行研究は報告がなく、その実態は不明です。そこでスマホ、PC の使用困難で発症した脳梗塞症例の臨床像を検討します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2011年10月～2025年9月に当院で虚血性脳卒中の治療を受けられた方

使用する試料・情報

スマホあるいはPCの使用困難が発見の端緒となったかどうか、背景因子(年齢、性別、入院日)、臨床的特徴(神経学的所見、NIHSS)、発症-来院時間、転帰(退院時NIHSS,mRS、三ヶ月後mRS)

使用開始予定日：2026年1月20日

研究予定期間

2026年1月20日～2026年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 脳神経内科 稲富雄一郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経内科 稲富雄一郎

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)